

音色響かせ社会貢献

チャリティーコンサート



地域福祉の向上のためにと、7年前から入場料全額を京都新聞社会福祉事業団に寄付している「チャリティークラシックコンサート デイ フロイデ」(同事業団後援)が18日、京都市中京区の旭堂楽器店サンホールで開かれた＝写真。

今年最初となった41回目はピアノ・チェロリサイタルと題してピアノ奏者の有村梢さん、三宅智子さん、立田早苗さんとチェロ奏者の桜井裕美さんがショパン「バラード第3番・4番」、バッハ「Suite I BWV1007」などを来場した約50人に披露した。同店の多田裕昭社長(39)が「デイ フロイデとはドイツ語で喜びを意味します。クラシック音楽

を
ア
ス
ク

を楽しみ喜びを感じてもらい、社会貢献につなげていきたい」と2カ月ごとに開いており、寄託総額は265万9110円となった。次回は3月21日。